

# 墜落・事故繰り返すオスプレイ 全国への訓練拡大を許すな



## こんどは日本配備と同型機が アメリカ・ネバダで炎上事故

沖縄の普天間基地に配備されているものと同型のオスプレイが、こんどはアメリカのネバダ州で8月26日(現地時間)に着陸に失敗して炎上する事故が発生しました。

米海軍安全センターは、事故の規模を最も重大な「クラスA」に分類し、機体は大破したとしています。海兵隊ミラマー基地は、「ハードランディング」と説明していますが、米国防分析研究所のリポロ氏は「墜落と大差ない」とし、原因は「回転翼機特有の失速現象」としています。

この事態に対し沖縄からはあらためて「配備撤回」の声が沸きあがっています。

## 滋賀県と高知県でオスプレイが 参加した日米合同演習を計画

こうした中で、日本本土でのオスプレイの訓練も本格化しようとしています。日米両政府は10月に滋賀県高島市の陸自あいば野演習場と、高知県の陸

自高知駐屯地(香南市)、空自土佐清水分屯基地(土佐清水市)で、オスプレイが参加する日米合同演習を計画しています。

日本政府は、本土での訓練拡大を「沖縄の負担軽減」のためとしています。本土で訓練を終えたオスプレイは沖縄に戻って別の訓練をおこなうのであり、沖縄にとって何の負担軽減にもなりません。

要するに、日米両政府が狙っているのは、さまざまな訓練を日本全国に拡大することです。

日本政府は、オスプレイが日本を守る「抑止力」だと言っていますが、オスプレイは敵地に侵入して兵員や武器を降ろす軍用機であり、日本防衛とは無関係です。

私たちは、オスプレイの訓練を全国に拡大することに反対し、オスプレイの配備撤回を求めます。

## 安倍政権の辺野古埋め立て申請 沖縄県知事に却下を求めます

日米両政府は、沖縄県名護市の辺野古沖の海を埋め立てて、最新鋭の米軍基地を、日本国民の税金を使ってつくろうとしています。そのため安倍内閣は、沖縄県知事に対して「公有水面埋め立て承認」を求めており、今年11月～来年1月に県知事の判断がおこなわれます。

私たちは、仲井真沖縄県知事に対して、埋め立て承認申請を却下するよう求めるはがき100万枚を送る運動にとりくんでいます。みなさんのご協力をお願いします。

安保破棄中央実行委員会 Eメール [anpohaiki@nifty.com](mailto:anpohaiki@nifty.com)  
TEL 03-3264-4764 FAX 03-3264-4765

2013年  
9月